



vol. 47

ギカイホウコク

07

JUL 2024

見通しの甘さは相変わらず...税金に対する考えを改めよう



特集 5月議会のまとめ & 総括質疑

答弁しない松井京都市長に代わり...菅谷vs岡田副市長で舌戦を繰り広げる

すがや浩平

京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	FAX 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党員・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党くださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願 (ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm)
ご自宅などの外壁・窓ガラス・フェンスなど、ポスターの掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられております。

01 京都市5月議会

補正予算案や人事議案など可決・同意し閉会

6月20日、京都市5月議会は最終本会議を開き、2月に就任した松井京都市長が、「第2次編成」と位置づけ、公約の一部を反映させた総額102億2500万円にのぼる2024年度一般会計補正予算案や、市議会議員の辞職に伴う、7月7日投票票の中京区補欠選挙の経費6000万円を追加する同補正予算案のほか、総務省出身官僚の坂越副市長(52)の後任として、同じく国土交通省出身官僚の竹内都市計画局長(47)を選任する人事議案や、京都府立大学農学食科学部准教授の濱崎加奈子氏(51)を市教育委員として新たに任命する人事議案などが市が提出した計28議案をすべて可決・同意して閉会した。

02 予算特別委員会・総括質疑

新たな手ぶら観光推進策となるか? 「巡回バス導入実証事業」の課題とは: 台風など自然災害で苦しむ事業者に手を差し伸べられる林業の支援策を!

6月12日に開かれた京都市5月議会の予算特別委員会では、維新・京都・国民市議団を代表し、松井京都市長らに対する総括質疑をおこなった。質疑の主な内容は以下の通り。

菅谷 松井市長が市長になられてすぐの代表質疑で、市バス車内への大型荷物の持ち込みを防ぐ趣旨で、手ぶら観光の推進を提案した。今回の「第2次編成」(の予算案)



▲市が実証事業をおこなう手ぶら観光推進策について質疑する

に挙げられている「宿泊施設等の巡回バス導入実証事業」は、どういった政策目標を持っているか。

岡田副市長 第1目標としては、荷物を預ける、ホテルに配送するという手段に加え、荷物を持って(巡回)バスに乗り、ホテルや宿泊所に行ってもらう政策である。

菅谷 具体的な数値目標は。

岡田副市長 おそらくバスについては、補助席を除いて45名ぐらいになる。これから事業者を決めて、運行期間、運行本数などの協議に入っていくので、(利用者が)何人、荷物を何個というような目標は、現時点ではない。

菅谷 「観光客の動向等に係る調査」の数字をもとに質疑するが、1番多い11月の宿泊客は、延べ

人数ではなく、実数で125万人。そこから、手ぶら観光する必要がない人を引くと、大体75万人で、1日に換算したら(スーツケースで)大体2.5万個だ。この(巡回)バスで何台を走らせないといいな。いかは計算しているのか。



▲松井市長の代わりに総括質疑の答弁に立つ岡田副市長だが...

岡田副市長 あくまでも実証事業だから、やってみて、その結果を見て、改善を図っていくことも大事だ。(左頁につづく)

答弁しない松井京都市長に代わり: 菅谷vs岡田副市長で舌戦を繰り広げる

菅谷「あくまで実証事業をするには、それだけの理屈、根拠がないと、予算としても不十分だと思う」

菅谷 「やってみて」が通用するのなら、何でも実証実験すればいい。そうではなくて、あくまで実証事業をするには、それだけの理屈、根拠がないと、予算としても不十分だと思う。ちなみに、観光客が多く来る時間帯で、1日にたった405人しか運べない(計算になる)。これは、熱した岩に水を落とすようなもの。



▲市内の林道の現状やその課題について問題提起をおこなう

菅谷 (松井市長にパネルを見せて)「ここがもとも林道だった。

数年前の台風で、橋も落ち、土砂や大木が積み重なり、林道ではなくなっている。この林道の先には若い北山杉が植えられていて、ここを復旧しない限りは、北山丸太ができたとしても搬出できない。今回(の予算案に)、林道(整備)の助成をつけてもらっているが、残念ながら、組合を通じた林道しか補助を受けられない。税金を使うのであれば、(台風など自然災害で苦しむ)本当は林業を続けた事業者に手を差し伸べるのが、同じ林業への支援だとしても、優先位が高いのではないか。

岡田副市長 行政から支援する限りは(林道などにも)規格があり、それを外しては支給できないが、言われているような研究は必要だと思っっている。

京都市議会議員・北区

菅谷 浩平 (37)

すがやこうへい



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部政務調査会副会長
地域活動/消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

「第2次編成」の補正予算が5月議会で成立したことにより、市は今秋の観光シーズンにあわせて、大型荷物を持った観光客らを専用の巡回バスで宿泊先などへ送る実証実験をおこなうとしている。大型荷物の持ち込みによる市バス車内の混雑緩和などを目指し、京都駅と宿泊施設が集中する地域を巡回するバスを走らせる計画のようだが、市が推進する手ぶら観光の新たなスタイルとして、荷物を預けてから観光地などに向かう「宿泊施設を起点とした観光」とやらが、果たしてオーバーツーリズム対策としてどれほどの効果をもたらすのか…。税金を使うからには、成果がきちんと得られるように期待したい。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei